



## 学校だより



(担当)  
教頭

<学校教育目標>

かしく やさしく たくましく

2025年12月25日(木) No.6



## 明日から冬休み 2学期登校日数82日

昇降口前のサフィニアが咲き誇っていた夏から2学期は始まりました。10月には音楽会、教室を飛び出して学んだ校外学習や修学旅行、体力をつけたマラソン週間などいろいろな体験を通して知識の学習だけではなく友だちとの関わりや集団での活動など大切なことをたくさん学んできました。

また、日課を見直したことで「わくわくタイム」や月火曜日の5時間授業など授業時数を確保しながら児童の生活にメリハリと余裕をもたせようと工夫もしてきました。保護者の皆様には、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

### 終業式の校長講話から

充実した楽しい冬休みにするために、「7つの事故」に気をつけましょう。(「年末年始休業のすごし方」参照)

夜空にはオリオン座の左に木星が明るく見えます。長い休み、美しい夜空を見ながら今年をふり返り、来年の目標を立てましょう。



### 2学期終業式 児童代表の発表

2年1組 田村 翠 「2がっき がんばったこと」

わたしが2がっきがんばったことは3つあります。

1つ目は、マラソン大会です。わたしたちは、学びゅうへいさでマラソンをやる日がおそくなりました。マラソン本ばんのとき、すごくさむい日で、走っているときに手がうまくうごきませんでした。がんばり、さいごまで走りきることができました。よかったです。

2つめは、かけ算です。わたしは、かけ算をおぼえるためにかけ算のじゅぎょうのとき、ひっしにおぼえて、今ではスラスラ言えるようになりました。うれしいです。

3つめは、音かく会です。音かく会のれんしゅうのとき、365日にかみひこうきをひっしにれんしゅうしました。そして、本ばんになるときんちょうしましたが、まちがえることなくうたえました。今でもすきなうたです。

3がっきは、もっとたくさんのにちょうせんしたいです。

4年1組 竹上 芽吹 「2学期をふり返って」

私が2学期にがんばったことは、3つあります。

1つ目は、委員会です。放送委員会で、全校のみんなが聞きやすい放送になるように、ゆっくり、大きな声で言えるようにがんばりました。当番活動をわすれずに行き、委員会の仕事を一生けんめいやりました。

2つ目は、音楽会です。4年生みんなで心を合わせて、聞いている人にリコーダーや歌の良さが伝わるように努力しました。本番では、4年生みんなの力が合わさって、とてもいいえんそうができました。

3つ目は、もちっこ祭りで初めて店番をしたことです。低学年のみんなが楽しんでくれるように、

高学年のみんなと協力し合うことを目標にがんばりました。思い出に残るたのしいもちこまつりになりました。

3学期もクラスみんなや全校のみんなと協力し合って、成長できるようにがんばりたいです。

## 学校保健委員会を開催しました 12月23日(火)

「メディアとの上手な付き合い方について」講師 子どもとメディア信州 高柳 麻里 先生

P T A 教養厚生部の皆さんにも参加していただいて、オンラインゲームや動画、SNS、スマートフォンやタブレット、インターネットとどう付き合っていくか、低学年と高学年に分かれて教えていただきました。

①動画を見る、ゲームをする時間を保護者と相談して決める。

②ゲームには対象年齢がある。ゲームのパッケージにはこんなマークがあります。B以上は12歳以上が対象です。



③SNSには年齢制限がある。YouTubeやTikTokは13歳からだそうです。

④アカウント、パスワードは他人に絶対教えない。写真の投稿は慎重に。瞳に映った景色からでも場所が判明してしまう。

⑤LINEの書き込み「面白くない」は、「あなたって面白い人ね」、「面白くない人ね」どっちの意味か。文では本意が伝わらずトラブルになることがある。

## インフルエンザ・新型コロナの治癒報告書をオクレンジャーで

本校では11月末をピークに落ち着いているインフルエンザですが、出席停止の期間が終わり、登校を再開するには「治癒報告書（出席停止期間終了報告書）」の提出が必要です。用紙については学校からお渡しするか、または望月小学校のHPからダウンロードしていただく必要がありましたが、学校まで取りに来ていただいたり用紙を提出したりする手間を省くためにオクレンジャーで報告できるように変更しました。手順は以下のようになりますので、冬休みからご使用ください。また、インフルエンザと新型コロナ以外の出席停止については、従来どおり医師の登校許可が必要になります。

①オクレンジャーのアプリ 下部の「オプション」をタップ

②「欠席連絡」の他に「インフルエンザ出席停止・治癒報告書」、「新型コロナ出席停止・治癒報告書」がありますので、選択して入力をしてください。

③受診医療機関、受診日、発症した日など入力していただき、最後に入力した保護者名を入れて送信してください。

④かかりはじめの欠席の連絡は「欠席連絡・家庭からの連絡」からお知らせください。



## 第2回学校地域公開のお知らせ

年間行事予定表にありますように、1月のもちこ推進委員会にあわせて、第2回学校地域公開を行います。10月の第1回公開では、多くの皆さんにご参観いただきました。保護者の皆様のみならず、望月以外に住まわれている祖父母の皆様、小学校にお子さんはいなくても地域の皆様も学校の様子をご参観いただけます。

1 日時 令和8年 1月22日(木) 9:10~11:10

2 受付場所 小学校児童昇降口(受付簿にお名前のお記入をお願いします。)

3 参観 2, 3時間目の授業を参観いただけます。日常の子どもたちの様子をご覧ください。

4 その他 駐車場はバスロータリー、正門内の駐車場、児童館の駐車場をご利用いただけます。昇降口前の駐車はご遠慮ください。有線放送でもお知らせをしますので、小学生のいないご家庭にもお知らせいただけるとありがたいです。

# 望月小学校の学習指導の取り組み～学びの共同体～



「学びの共同体」という言葉をどこかで聞いたことのある方も、よく知っている方もおられることと思います。学習指導の手法はどこの学校であっても必ずテーマを決めて「研究」をしています。望月小では、統合の前から望月町を挙げて「学びの共同体」の考え方や方法に沿って進められてきました。望月小学校を卒業されたお父さんやお母さんの中には「学びの共同体」の学習方法で学んできた方がいらっしゃるかもしれません。

現在も春はスーパーバイザーの谷井茂久先生、秋には「学びの共同体」の中心であり、子どもの「学び」を中心に据えて、教育・授業改革の理論・実践研究者としてさまざまな学校を訪れ、精力的に活躍している佐藤学先生をお招きして授業研究会を開催しています。

今年、10月14日に3年1組の体育の授業をもとに研究会を行いました。研究会後に望月有線放送で学校長と佐藤学先生のインタビューがあり、放送されました。その様子を紙面でお伝えします。

有線放送 アナウンサー	「ちょっとお邪魔します」今日は10月14日火曜日です。望月小学校で行われている公開学習研究会にお邪魔します。望月小学校校長 市川英臣先生です。こんにちは。
望月小学校長	こんにちは。
アナウンサー	今日行われています公開学習研究会について教えていただけますか。
校長先生	この研究会、第27回を迎えます。と望月小学校は今年で開校18年ということですので、開校前から統合前から行われているということになります。そして、この公開研究会ですが、20年前から東京大学の名誉教授、その頃は東京大学教授だったのでしょうか。佐藤学先生をお招きし、学びの共同体という学習スタイル、学習システム、それを中心に一緒に学ばせていただいている、そのような研究会になっております。
アナウンサー	今お話に出ました学びの共同体について、詳しく聞かせていただけますか。
校長先生	はい。大変失礼ではありますが、私、市川も今勉強途中であるということで、本当に詳しいその深みのところ、真のところはわかりませんが、私の解釈で失礼ではありますが、お話をさせていただきます。 学びの共同体とは、学力をつけるということが学びと思われていますが、それだけではなく、その前段の学びをどのように子どもたちが深めていくのか、どのように学ぶのか、その学力をつける前の学び方を学び、そして、学力だけではなく、私の捉えですが、子どもたちのこれからの生き方、人との付き合い方、ともに一緒に学び合う、そんな力を高める大切な学び方ではないかな、そのように感じております。
アナウンサー	学びの共同体とは奥が深いようです。今日は、望月小学校と中学校の先生をはじめ、およそ70名の教育関係者が参加されています。参加者である先生方は、佐藤学先生の丁寧な指導のもと、学びを深めていました。佐藤先生にお話をお聞きします。先生が望月地域にいらっしゃるようになって20年になります。20年を振り返って、先生が見てこられたこの地域の変化について教えてくださいませんか。
佐藤先生	最初は高校だったんですね。以来、小中学校、小学校を中心に関わってきましたけども、最初にしたのは、子どもたちがとっても素直な子たちで、うん、正直な子たちという印象ですね。これはいい意味でそうなんですが、だから、つまらない時はつまらない顔をするし、夢中になればほんとに夢中になるというね。でも、根っこにはやはり学力が低いという問題もありまして、その中でどういうふうに子どもたち一人ひとり大切に、学びを大好きになってもらい、なおかつ、学力も上げていくかということはずっと考えてきました。正直に言いますと、色んな条件の中で波があつてね、よく20年ね、続けてこられたもんだと思います。 その意味では、望月教育プラットフォームの非常に大きな支え、あるいは地域の支えという

ものを実感しています。現在はですね、その中でも、最もいい状態だと思いますね。子どもたちみんながね、ひとり残らず向かってますね。先生方も、本当に素晴らしいです。ですから、素敵な学校になったことを、まずは報告したいと思ってます。

アナウンサー 初めは課題が多かったでしょうか？

佐藤先生 日本中どの学校もそうなんですけどね、いくつか問題があって、1つは、授業や学びのスタイルが非常に保守的で、古いタイプから抜け出せなかったという問題があるんですね。そうすると、今の子どもたちは現代を生きてますから、現代に生きてる子どもたちどうもうまくいかないで、先生方も苦勞するし、子どもたちも苦勞するということと、もう1つは、やはり学力がかなり低かったんで、不登校もかなりの数いまして、そういう問題をね、どう解決するかっていうことがやっぱり中心でしたね。でも、現在は不登校もうんと減ってますし、それから、先ほども言いましたように、授業や学びのスタイルは日本全体から見ても最先端に行くような挑戦を先生方がやられてますし、子どもたちも挑戦しています。それから、学びを諦めるようなことも嫌になってる子ども、もういないと思いますね。その意味では、本当に劇的に変わってきたと言っていいでしょう。

アナウンサー 子どもたちの学ぶ姿や教師の皆さんの変化っていうのがかなりあったってことですか。

佐藤先生 もちろんそうです。はい。大人はよくね、明るく元気な学校はいい学校だ考えがちなんですけど、子どもは誰も明るく元気な子なんか求めてないんですね。誰もが安心して学べる学校、それから一人ひとりが大切にされる学校、それから、何よりも自分の可能性に挑戦できる学校なんです。そのためには、静かで穏やかで、それから温かい教室、温かい学校になることが必要なんです。これが生まれるためには、先生方が子どもたちを尊敬しなきゃいけないです。信頼しなきゃいけない。そして、子どもたちの可能性に挑戦させなきゃいけないんですね。で、それらの条件が今できてきているということだと思います。

アナウンサー 学びの共同体の改革の効果が出ているということですか。

佐藤先生 もちろん上がっていると思いますよ。ぜひぜひ、教室で子どもたち、先生方を見ていただきたいと思います。

アナウンサー では、最後に、地域の方ができることについて、先生が思うところ教えていただけますか。

佐藤先生 子どもたちは学校で育つとともに地域で育っていますから、ぜひ、地域の中で一人ひとりの皆さんが、子どもたちに声をかけていただきたい。あなた素敵だよっていうメッセージをかけていただきたい。それと、今、学校の先生方、ご存じのようにとても大変な中で仕事されてますので、先生方への励ましを、絶えず送っていただければと思います。

アナウンサー 佐藤先生の素敵な学校になっているとの言葉から、大切な20年間だったとも感じられたのではないのでしょうか。地域と学校と子どもたちみんなが共に学び合う学びの共同体への挑戦。挑戦はこれからも続いていくようです。「ちょっとお邪魔します」をお送りしました。

## 冬休み中の緊急連絡先

学校閉庁日12/28(日)～1/4(日)、週休日、夜間の緊急連絡先

○本人または家族の緊急な連絡(事故、入院、重篤な病気など) → 市役所代表62-2111へ

○インフルエンザ、コロナ陽性の連絡 → オクレンジャーのフォームから連絡

その他の期間の緊急連絡先 → 学校53-2208へ

令和7年も地域の皆様には望月小学校を支えていただきありがとうございました。  
令和8年もよろしくお願ひいたします。皆様、よいお年をお迎えください。

